



南部町立南部中学校 学校だより 第22号

千一ム南部中

令和2年2月27日(木)

校長 望月 和彦

心がポカポカッと温まった「3年生を送る会」

2月21日(金)に「3年生を送る会」が行われました。インフルエンザの流行のため、例年より1週間ほど取り組み期間が短くなりましたが、生徒会事務局が中心となり、1・2年生全員でこの日のために一生懸命準備をしました。体育館玄関には、3年生全員名前の書かれた合格祈願の絵馬が掲示され、体育館内には3年生に贈った手作りのバラの花も飾られ、とても温かな会場ができていました。



3年生が拍手で迎えられ、オープニングは生徒会事務局のMCで思い出のスライド上映です。BGMに合わせて3年間の懐かしい写真が、コメント付きで映し出されました。まだ初々しい1年生の頃の写真や様々な行事でハッスルしている場面、部活動に真剣に取り組んでいるシーン、仲間と戯れている様子など様々な写真に、3年生は釘付けになっていました。思い出を振り返りながら、自分自身の成長を感じられたのではないのでしょうか。スライドの途中に、3年生へのインタビューも



あり、3年生のユニークな答えに会場には笑顔がたくさん見られました。スライドの最後には、1・2年生の頃お世話になった山口啓史先生、望月百合子先生、そして石川君男先生からのビデオメッセージも飛び出し、とてもすてきなスライド上映でした。



続いて、1・2年生による3年生への贈り物です。呼びかけでは、3年生との思い出やお世話になったこと、自分たちの目標として3年生がいたことなど、一人ひとりが伝えたい気持ちを自分の言葉にして表現していました。合唱「春に」では、きれいな声とハーモニー、そして1・2年生一人ひとりの歌う表情に一生懸命さが伝わってきて、身体がジーンとしびれる感覚を味わわせてもらいました。そして「応援」。昼休みに応援委員会がリーダーとなり、これまでの応援に新しい形を取り入れ、声と動作を合わせることに妥協を許さず取り組んできました。張り詰めた空気の中で、3年生のこれからの活躍を祈る立派な応援でした。「合唱活動」「全力応援」では、「先輩たちが大切にしてきた南部中文化を私たちがしっかり受け継いでいきます」と、自分たちの姿で3年生に伝えているようでした。最後に、1・2年生が心を込めて制作した記念品の「メモ帳」56人分が3年生代表にプレゼントされました。



3年生代表からは、「こんな私たちのことを尊敬してくれてとてもうれしいです。1・2年生のパワーを感じ、皆さんなら統合10周年の南部中を背負っていただけるだろうと思います。こんなすてきな会を開いてくれてありがとうございます。」というお礼の言葉があり、続いて合唱「あなたへ」と一人ひとりへのメッセージが書かれた模造紙が1・2年生に贈られました。



今年度の「3年生を送る会」のテーマは『伝える』。1・2年生から3年生には、「南部中を卒業し新たな進路に進む3年生に対する感謝と励ましの気持ち」「統合10周年を迎える南部中生徒会は安心して私たちに任せてくださいという気持ち」が、3年生からは「南部中で一緒に生活してきた1・2年生や仲間に対する感謝の気持ち」「自分たちが築いてきたものをつないでほしいという気持ち」が。互いの伝えたい

気持ちがはっきり感じられ、心がポカポカッと温くなる時間でした。こう感じたのは、私だけではなかったと思います。

学校の多忙化が叫ばれ、行事の精選が進められる中で「3年生を送る会」がなくなった学校もいくつかあります。今回の取り組みと当日の内容を見ると、とても大きな教育的な価値があることを改めて感じました。できる限りつないでいきたい行事です。



3 学年授業参観と学年PTA



今年度より道徳が教科の一つとなり、従来の「道徳の時間」が「特別の教科 道徳」になりました。教科化されたことにより、教科書を使い評価を行う（通信表にも記入する）ことになりました。また、授業の進め方も、教材の中で扱われている道徳価値を自分との関わりの中で考えられるようにすることや、授業の中で多様な考え方や感じ方に会わせ、交流させることによって自分の考えをより深められるようにすることなどが求められています。（「考え、議論する道徳」）本校でも、校内研究の中で、より良い道徳の授業づくりに力を入れてきたところです。そ

して3学期は、すべての学級で道徳の授業参観を行うことになっています。

2月12日（水）に3年生にとって最後の授業参観と学年PTAがありました。「出会いの輝き」という読み物教材を使って「思いやり、感謝」について考える道徳の授業でした。資料中の「人が人に贈ることのできる最善の贈り物は物質ではなくいい思い出である」という内容から、「自分がもらったいい思い出にはどんなものがあるだろう」と生徒たちは自分に置き換えて考えていました。部活動や修学旅行の出来事、仲間との交流など、考えを発表し意見交換を行った上で、さらに「いい思い出は人々のどんな思いでできているのか」をさらに深く考えていました。難しいテーマでしたが、意見を交流させながら生徒たちは自分なりに考えを深めているようでした。その後、蒙軒ホールにて学年PTAが行われ、学年や学級ごとの一年間の反省、今後の入試や卒業に向けた予定、学年会計などについて、話し合いが行われました。

3年生も3月11日の卒業式まで、残り10日あまりです。様々な面において有終の美を飾ってくれることを期待しています。

新型コロナウイルスに対する対応について

新聞やテレビ、ネット等で新型コロナウイルス感染拡大のニュースが連日報道されています。本校としても、全校生徒の安全と健康の保持は最優先課題であり、新型コロナウイルス関連の最新の情報をできるだけ入手し、学校として可能な感染症対策に万全を期しているところです。

新型コロナウイルス感染症の症状や感染の疑いのある場合の対応方法、基本的な予防方法、学校での予防対策については、21日（金）配布の「ほけんだより」に詳しく記載してあります。ご覧になっていただき、各ご家庭でも可能な限りの予防対策をお願いいたします。

また、県教育委員会の2月20日付け通知「卒業式及び修学旅行等の学校行事における感染症対策について」で、次のような指示がありました。

- 大勢の人に接する機会の増える卒業式等については、必要な予防対策を講じることと同時に、状況に応じて時間短縮・簡素化、参加者の限定を行うこと。
- 修学旅行等については、国や県、旅行会社等からの情報をもとに、関係者との協議を含め旅行先、日程の変更を含めて具体的な感染症対策を講じること。

大変不安な状況ですが、今のところ本校の「卒業式」や「入学式」の日程、現2年生の「修学旅行」の日程に変更はありません。しかしながら、今後国内でさらなる急激な感染拡大が起きたり、身近な場所で罹患者が発生したり、文科省・県教委・町教委等から延期・中止等の指示が出たりした場合などは、急遽、卒業式や修学旅行等の日程や方法等を変更せざるを得ません。その場合は、すぐに保護者の皆様にご連絡いたします。ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。